

新型コロナウイルス感染症が5類に移行して早一年経過しました。目まぐるしく変化する社会にあって、当会の活動も『不易流行』で伝統継承と変化の両面が求められていると思います。心新たに、役員改選後初めての日理工通信12号をお届けします。

会長ご挨拶 一般社団法人日本理学療法機器工業会 創立30周年式典に出席して

“思い出・新しい発見、次世代へ繋ぐ”

引き続き日理工会長を務めさせていただくことになりました。会員の皆様には、様々お世話になりますが、よろしくお願い申し上げます。製造会社、販売会社が一体となって日本理学療法器材工業会（日理工）が創設されて45年になります。その後、改正薬事法やPL法の施行に業界として対応できるよう、平成5年に日理工会員メーカー各社が参画する日本理学療法機器工業会（日理機工）が組織されました。令和6年7月4日激動の中、日理機工創立30周年式典が開催されて、前加藤厚生労働大臣、厚労省関係者、ユーザー団体代表者が出席されて盛況に執り行われました。

平成7年「医療用具修理業・責任技術者・理学療法機器関連の専門講習会」、平成13年「中古医療機器取扱いの手引きの作成」、私達の活動に必要な情報提供を現在も変わらずいただいております。日理機工は重要な存在です。今回の式典は変遷を伝え、次世代へ夢と希望、目標・目的を抱かせる大事な行事と感じました。歴史は自然の変化、世代に経験のないコロナ感染症など、経済の激動の中での努力・汗・改革の積み重ね、未来へ向けての活動の証と言えます。

私たち日理工は、先人たちが築いてこられた歴史と伝統を踏まえて、次の日理工設立50周年に向けて、会員の皆様と力を合わせて新たな発展の歴史を築いてまいりたいと思います。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



日本理学療法器材工業会 会長
タチホメディカル株式会社
代表取締役 甲斐 新一

1

部会長ご挨拶



関東部会長
株式会社大島製作所
代表取締役 大島 直樹

本年度より関東部会長を務めております大島です。関東部会の展示会事業では、来年3月、日整関東ブロック（栃木大会）を予定しています。それ以外の事業として、①会員間交流、②講演会開催など情報共有・発信、③次世代へのバトンタッチ、④関係団体への意見具申、⑤日理工のプレゼンスを増やすための会員増強等、会員の皆様にご支持いただける諸事業を、皆様のご意見を伺いながら、一つずつ進めて参りたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



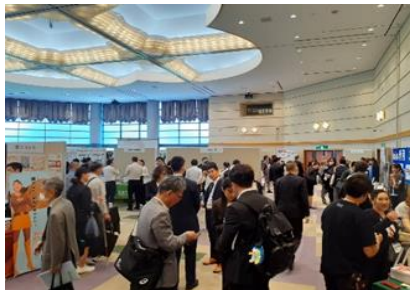
関西部会長
有限会社ジョーショウ企画
代表取締役 吉井 洋

関西部会部会長を引き続き行う事になりました、よろしくお願い申し上げます。日理工を取り巻く環境も年々厳しくなって来ております。一時悪化傾向にありました、社団近畿連合会との改善の方向で確認致しました。社団学術大会の付設展示も縮小傾向にあります。そこで、会員各位のメリットは何か考えて行かなければなりません。①メーカー新商品情報・治療法等の講演会やセミナーを開催し、来場者に直接機器等を試してもらい機会を設け、会員には幅広く販路を広げる情報を提供する。②行政機関情報・会員相互の情報交換システムを設け、日理工会員に公開し、会員はユーザーへいち早く案内できるようにする。同時に展示会を独自に開催し、展示はメーカーのみの展示とし、会員はユーザーを会場に案内し情報を共有し販促につなげる。今後の関西部会は10月を目途に実行委員会を立ち上げて、明年秋開催を目指して行きたいと考えております。日理工会員各位のご協力をお願いし、ご挨拶に代えさせていただきます。

学会付設展示・部会活動報告

第73回(公社)全日本鍼灸学会学術大会宮城大会(仙台国際センター 会議棟 2F 桜の間) 展示

会期：2024/5/24(金)～5/26(日)



学会来場者数 1,530 名 出展ブース 40 コマ



日理工鍼灸部会総会・懇親会(夜酔)開催



日時 5/24(金)18:30～

総会・懇親会 11 社 (19 名出席)

能登半島地震支援活動に、鍼灸部会を

通して企業がいち早く物資を現地に送り、

支援したことに大変感謝していただき、DSAM 代表の是元佑太先生、副代表の仲嶋

隆史先生より表彰を受けました。(写真左 5 月 24 日 懇親会にて撮影)

* 4 ページ目に DSAM 能登半島地震支援活動の報告掲載。

北陸大震災における支援

(公社)日本鍼灸師会と(公社)全日本鍼灸マッサージ師会が合同で結束されている DSAM が被災者の健康維持の為に一早く活動を開始されました。日理工鍼灸部会に必要な支援物資の連絡があり、日理工会員と協力し、1 週間以内に物資を送ることができました。日頃の鍼灸部会の結束の賜物と感謝いたします。共に共生して行くことの大切さを教えられました。

日理工鍼灸部会長 松本 修

日理工関西部会総会・研修会・懇親会開催

日時：5/10(金)16 時～ 会場：江坂サニーストンホテル 出席者 14 名

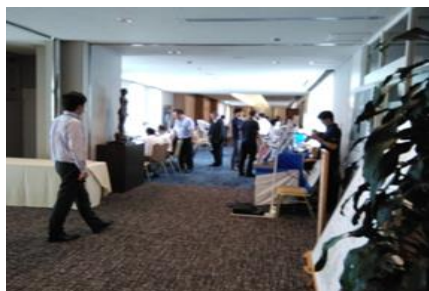
関西部会総会と懇親会が開催されました。また、田辺社会保険労務士事務所様を講師に労務管理の研修会が実施されました(写真右)



第51回(公社)日本柔道整復師会九州学術大会 佐賀大会

会期：6/29(土)～30(日) 出展社 17 社 (20 コマ)

会場：佐賀市ホテルグランデはがくれ



学会付設展示・部会活動報告

関東部会総会・講演会・懇親会開催

日時：5/10(金)16時～ 会場：文京区民センター 出席者19名

鍼灸部会との意見交換会、関東部会総会の後、『東京都柔道整復師会の未来に向けた取り組みについて』と題して、同会理事・帝京平成大学教授の樽本修和様にご講演いただきました。柔道整復が費用対効果に優れている等の社会的重要性をEBMで確立できるよう務めること、さらに柔整師が国民に必要とされるために日整主導の卒後教育の実施や、入会の負担軽減に加えて、将来都柔接に『臨床実習センター(仮称)』の開設を目指すなど未来志向の会運営、「接骨院における新しい物理療法について」として欧米の物理療法の知見を紹介と多岐にわたる極めて有意義な内容でした。講演会終了後には、講師も交えて懇親会を開催し、楽しく会員交流を行いました。

第45期日理工通常総会・懇親会開催

日時：5/17(金)16時～ 会場：文京シビックセンター 出席者19名

議案の審議では令和5年度事業報告・同収支決算、令和6年度事業計画・同収支予算、役員選任の報告、説明を行い、全議案とも原案通り承認、可決しました。

挨拶に立った甲斐会長は、「1、魅力ある日理工へ…市場創造、新時代に沿った改革と会員拡大。2、展示改革…興味を抱かせる、明るい先端展示。3、関係学会、各団体との交流…コミュニケーションを深め、未来への共生の基本方針を基に、日理工が一致団結し、実践することで困難を克服したい」と強調しました。

総会終了後は、懇親会を開催し、会員交流と意見交換を行いました。

業界ニュース

《展示会スケジュール》

- ・第45回(公社)東洋療法学校協会学術大会(大阪国際交流センター)展示
会期：2024年10月10日(木) <https://www.toyoryoho.or.jp/>
- ・第19回(公社)日本鍼灸師会全国大会 in 福岡(みらいホール&カンファレンス)展示
会期：2024年10月26日(土)～27日(日) <https://fukuokahariq-pref.org/news/1837/>
- ・(公社)日本柔道整復師会第45回関東学術大会 栃木大会(栃木県総合文化センター)展示
会期：2025年3月8日(土)～9日(日)
<https://www.shadan-nissei.or.jp/services/academic-conferences/>

《日理工メール配信より再掲載》

- ・兵庫県柔道整復師会協同組合月刊誌にWEB動画の広告を無料で掲載できます。
日理工会員限定です。詳細は関西部会(吉井部会長)までお問い合わせ下さい。

令和6年能登半島地震支援活動報告書

DSAM 代表 是元佑太

活動期間：令和6年1月8日～4月28日（約4か月間）

活動場所：4市1町 6拠点

のべ施術日数：58日

のべ施術者数：259名

のべ受療者数：966名



【活動詳細内容】

○石川県庁内 1113 ルーム（支援者支援活動）

活動期間：令和6年1月9日～2月2日

施術日数：18日、のべ施術者：94名、のべ受療者数：257名

○いしかわ総合スポーツセンター1.5次避難所（被災者支援活動）

活動期間：令和6年1月14日～3月31日

施術日数：12日、のべ施術者：92名、のべ受療者数：352名

○珠洲市役所（支援者支援活動）

活動期間：令和6年1月21日～4月28日

施術日数：17日、のべ施術者：43名、のべ受療者数：223名

○特別養護老人ホーム長寿園（支援者支援活動）

活動期間：令和6年2月8日～4月14日

施術日数：4日、のべ施術者：11名、のべ受療者数：56名

○輪島市役所（支援者支援活動）

活動期間：令和6年2月18日～4月28日

施術日数：7日、のべ施術者：19名、のべ受療者数：78名

【石川県両師会による災害協定に基づく活動】

○志賀町富来活性化センター（被災者支援活動）

活動期間：令和6年3月10日～4月29日

施術日数：9日、のべ施術者数：60名、のべ受療者数：192名



皆様からのあたたかいご支援、本当にありがとうございました。



業界ニュース

・【厚労省】オンライン資格確認の導入費用補助申請期限は、令和7年1月15日まで

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08280.html

・【令和6年6月療養費改定】

2024年6月改定事項

◆柔整◆	改定後	改定前
初検料	1,550円 (+30円)	1,520円
電療料	1回33円加算 (+3円)	30円

◆はり・きゅう◆	改定後	改定前
初検料 (1術)	1,950円 (+170円)	1,780円
初検料 (2術)	2,230円 (+370円)	1,860円
通所・施術料 (1術)	1,610円 (+60円)	1,550円
通所・施術料 (2術)	1,770円 (+160円)	1,610円
電療料	1回100円加算 (+66円)	34円

◆あん摩マッサージ指圧◆	改定後	改定前
通所・マッサージ施術料	1局所450円 (+100円)	350円
温電法 (マッサージと併施)	1回180円加算 (+66円)	125円
電気光線器具 (温電法と併せて使用)	1回300円加算 (+140円)	160円
変形徒手矯正術 (マッサージ加算)	1肢1回470円加算 (+20円)	450円

* 日理工調べ

あはき療養費は往復が見直されました。今年10月より訪問施術料を新たに導入予定。

<chrome-extension://efaidnbmninnipcbajpcgiclfndmkaj/https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/001249728.pdf>

柔道整復療養費の料金改定 (案) について (令和6年6月~)

	初回	2回目	3回目以降	
施術の内容や部位数 によらないもの	<ul style="list-style-type: none"> 初検料 (1,520円) → (1,550円) (時間外、夜間、休日の加算あり) 初検時相談支援料 (100円) 	<ul style="list-style-type: none"> 再検料 (410円) 		
	<ul style="list-style-type: none"> 往療料 (2,300円)、(4km超2,550円) 			
	<ul style="list-style-type: none"> 明細書発行体制加算 (13円) → (10円) ※明細書を無償で患者に交付した場合、同月内に1回のみ算定 ※令和4年10月から → 令和6年10月から 			
施術の内容や部位数 によるもの	<ul style="list-style-type: none"> 整復料 (骨折) (5,500円~11,800円) 固定料 (不全骨折) (3,900円~9,500円) 	<ul style="list-style-type: none"> 後療料 (850円) ※3部位以上は60%減減の対象 後療料 (720円) ※3部位以上は60%減減の対象 後療料 (720円) ※3部位以上は60%、5ヶ月超の長期は80%減減の対象 → ※3部位以上は60%、5ヶ月超の長期は75%減減の対象、5ヶ月超の長期かつ1月当たり10回以上の頻回は50%減減の対象 ※令和6年10月から 		
	<ul style="list-style-type: none"> 整復料 (脱臼) (2,600円~9,300円) 	<ul style="list-style-type: none"> 後療料 (505円) ※3部位以上は60%、5ヶ月超の長期は80%減減の対象 → ※3部位以上は60%、5ヶ月超の長期は75%減減の対象、5ヶ月超の長期かつ1月当たり10回以上の頻回は50%減減の対象 ※令和6年10月から 		
	<ul style="list-style-type: none"> 施療料 (打撲、捻挫) (760円) 	<ul style="list-style-type: none"> 冷電法料 (85円)、温電法料 (75円)、電療料 (30円) → (33円) ※3部位以上は60%、5ヶ月超の長期は80%減減の対象 → ※3部位以上は60%、5ヶ月超の長期は75%減減の対象、5ヶ月超の長期かつ1月当たり10回以上の頻回は50%減減の対象 ※令和6年10月から 		
		<ul style="list-style-type: none"> 骨折、脱臼、不全骨折の固定のための金属副子等を使用した場合の加算 3回まで (1,000円) 		
		<ul style="list-style-type: none"> 柔道整復運動後療料 (骨折、脱臼、不全骨折) (320円) 		
	<ul style="list-style-type: none"> 骨折、脱臼、不全骨折の応急施療を行った後の保険医療機関への文書による患者紹介を行った場合の情報提供料 (1,000円) 			

4

《会員の皆様からの情報》

～伊藤超短波株式会社～ 日本サッカー協会とJFA サポーター契約を締結

伊藤超短波株式会社は、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）と、物理療法機器分野での協力を主な目的とした JFA サポーター契約を締結しました。

★日本サッカー協会のニュースリリースはコチラ

https://www.jfa.jp/about_jfa/news/00034165/

★会社側のプレスリリース（PRtimes）はコチラ

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000121.000028866.html>

～ダイヤ工業株式会社主催～ 柔整・鍼灸メディカルショーin 東京を開催致します！

会員様でつながりのある治療院の先生方へ下記内容のご案内のご協力をいただければ幸いです。

どうぞよろしくお願い致します。

■日時：2024年9月8日(日) 9：00～17：30 ※途中退場、再入場可能

■場所：帝京平成大学 池袋キャンパス 3F・4F（東京都豊島区東池袋 2-5 1-4）

■参加費：無料

★セミナー詳細はコチラ

https://www.daiyak.co.jp/DaiyaWeb/webshop/2024/0908_tokyo_exhibition/index3.html

★予約フォームはコチラ

<https://forms.office.com/r/PT40cZTj2d>



募集！！

広報委員会では会員の皆様からの投稿を募集しております。業界に関すること、商品に関すること、会社に関すること等お気軽にご連絡下さい。また、日理工通信にどのような内容の記事を掲載してほしいかのご意見もお待ちしております。ご連絡は事務局までお願いします。

日理工通信 第12号 ◎発行元：日本理学療法器材工業会

◎発行日：2024年8月8日

◎発行責任者：広報委員長 大島 直樹

副委員長 中川 善貴

事務局 梁島 由紀子

◎事務局：〒113-0033

東京都文京区本郷 2-22-1 Yビル 3階

TEL：03-3811-8200 FAX：03-3813-7011

E-mail：nichiriko@nichiriko.com

HP：<http://www.nichiriko.com/>

*ここに掲載している 記事の無断複写・転載を禁じます。